

清

S E I F U K U

福



令和4年2月
第97号

題字 総本山金剛峯寺座主葛西光義大僧正猊下

高野町議会だより

厚生建設常任委員会 所管調査

(富貴高齢者生活福祉センター)

令和4年1月18日実施



総務文教常任委員会 所管調査

(極楽橋付近階段)

令和3年11月17日実施

令和3年12月定例会

おもな内容

- ◇所管調査..... 2 頁
- ◇12月定例会の概要..... 3 頁
- ◇12月定例会のおもな審議内容..... 4 頁
- ◇一般質問..... 7 頁
- ◇議会日誌、編集後記..... 14 頁

発行 高野町議会
編集 広報特別委員会

〒648-0281

和歌山県伊都郡高野町大字高野山636

TEL : 0736-56-2935

FAX : 0736-56-5300

e-mail:gikai-jimu@town.koya.wakayama.jp

総務文教常任委員会 所管調査

令和3年11月17日(水)参詣道「極楽橋付近の階段改修工事」の状況を調査しました。

- 急勾配の直階段は平成28年5月から通行止としていた。
- 令和2年度に改修工事にあたり教育委員会が計画方針を立てる。
- 既設の上部階段を3分割、4メートル以内ごとに踊り場を2ヶ所設置し、以前の直階段は手すりが低く利用する登山者が落下するおそれもあると思われることから手すりを増設するとともに転落防止のための柵を付けた。

【現場調査】

●基本材は鉄骨材だが垂鉛メッキ材料も使用、踏み段は樹脂材である。

●階段、踊り場はすべり止め加工がされている。

●急勾配の階段ではあるが、改修により3分割、2ヶ所踊り場を設置、手すりの増設、転落防止柵の設置により、利便性及び安全面において以前より向上した。

(※但し勾配は緩和されていないので、慎重に通行する必要がある)

高野山への歴史の道で世界遺産の不動坂に続くこのハイキングコース神谷付近(階段付近にも)に景観に合う歴史ある道の説明看板やここから先は南海電鉄の線路があるため通行止め看板の必要性については、教育委員会の説明では観光振興課、建設課でこの道の活用計画が出ているとのことでもあるので、管理者である和歌山県とも話し合いをしながら取り組んでいくとのこと、また地域の方々の協力もえてこの道を後世に伝え守っていくとの答弁をいただいています。



厚生建設常任委員会 所管調査

令和4年1月18日(火)開設から約30年経過する富貴高齢者生活福祉センター(以下センター)を視察。出席者11名(福祉保健課長・富貴支所長・社会福祉協議会事務局長・センター職員・委員5名・議会事務局2名)

調査目的

センターの運営・管理の現状及び課題を把握するため。

調査方法

担当課長・支所長並びに職員の方々より説明を受け協議。その後施設内各所を視察。

説明の概要

1. 事業の内容(デイサービス及び訪問介護・配食事業等の諸事業)と運営
2. 運営面や施設管理に関する現在の状況
3. 本事業の課題

- 開設当初より地域の人口が半減し、利用者の減少幅が大きい
- 人口規模の割に施設規模が大きく、維持管理の負担が大きい
- 開設より30年近く経ち、修繕・設備更新に多額の費用が必要

総括

●課題はあるが、行政・社会福祉協議会が運営する施設として地域福祉の拠点である。今後、既存事業の更なる充実を図り、個別支援等地域ニーズに対応する事業を育てる。

●施設の有効活用を目指し、地域住民が集う交流拠点となる事業や催し等を検討し、地域の活性化に繋ぐ。そのために、行政・社協・住民が相互に連携し協議を進める。



12月定例会の概要

令和3年12月定例会の概要

令和3年11月30日に招集された12月定例会には、町当局より条例廃止2件、条例改正13件、補正予算11件、路線認定1件、同意1件、の28議案について審議するとともに選挙4件、選任3件によりそれぞれの委員が選出され、12月10日に閉会しました。一般質問については、7名の議員が後述の内容で質問を行いました。

議案審議とその結果

議 題 名	付託委員会名	審議結果
高野町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野山森林公園設置及び管理条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町国民健康保険条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町神谷簡易水道使用条例を廃止する条例について		原案可決
高野町神谷簡易水道基金条例を廃止する条例について		原案可決
高野町特別会計条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町水道事業給水条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町水道事業分担金徴収条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町水道分担金の徴収等の特例に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町上水道基金条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町水道事業布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
高野町非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例について		原案可決
令和3年度高野町一般会計補正予算(第5号)について		原案可決
令和3年度高野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
令和3年度高野町国民健康保険富貴診療所特別会計補正予算(第3号)について		原案可決
令和3年度高野町簡易水道特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
令和3年度高野町富貴財産区特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
令和3年度高野町下水道特別会計補正予算(第3号)について		原案可決
令和3年度高野町介護保険特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
令和3年度高野町立高野山総合診療所特別会計補正予算(第3号)について		原案可決
令和3年度高野町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)について		原案可決
令和3年度高野町水道事業会計補正予算(第2号)について		原案可決
町道の路線認定について		原案可決
令和3年度高野町一般会計補正予算(第6号)について		原案可決
高野町選挙管理委員会委員の選挙について		指名推薦
高野町選挙管理委員会委員補充員の選挙について		指名推薦
和歌山県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について		指名推薦
伊都郡町村及び橋本市老人福祉施設事務組合議会議員の選挙について		指名推薦
常任委員会委員の選任について		選 任
議会運営委員会委員の選任について		選 任
特別委員会委員の選任について		選 任
高野町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて		原案同意

12月定例会 議案審議の主な内容

高野山森林公園設置及び管理条例の一部を改正する条例について

内容 昨今の社会情勢に対応し、多面的な活用を図るため「全天候型ゲートボール場」を「屋内多目的広場」に改め、意識を高めるとともに様々なスポーツや催しに活用し、対応できるように改正するものです。

質問 名称を「屋内多目的広場」と改名し、多面的な活用を図るためということですが、今回、町民誰でも使用できることなのか。条例の公布日は、可決された場合、その日から施行になるのか、令和4年4月1日から施行になるのか。また、今後、「屋内多目的広場」となった場合、どの課が責任を持って運営管理していくのですか。

答弁 (観光振興課長) 今までもゲートボールを楽しむ方中心にお使いいただいていたわけですが、それ以外にも、冬場の少年野球クラブの練習や、高野山旗学童軟式野球大会でのクールダウンの場所など、いろんな利用をしています。

この改正によって、ゲートボール以外にも、例えばグラウンドゴルフであったり、子どもコーラスの練習などできると思います。あの広さで、雨天でも利用できるというのは非

常に価値があると思います。そのよさを皆さんが使い合うことで、十二分にその機能を果たしていくというところをこれから求めていきたいと考えています。施行については、議決後公布をしまして、その日からということになります。

また、森林公園施設の管理については、観光振興課で行なっています。このゲートボール場については福祉保健課で受付、対応をしています。今後、様々な方が利用することになると、観光振興課で一律に受付、整理をするのが一番混乱しないと考えています。

答弁 (町長) 今回、多目的に使うということ。で名称変更等を提案しました。まずは住民の皆様の、様々なニーズに答えられるように整備をしていきたいと思っております。

観光振興課が窓口となり、福祉の事業や教育の事業、広くは町内の一般の方々の使用、災害時でも、使っていけるよう住民のニーズに答えるような施設にしていきたいと考えています。

質問 耐震は大丈夫でしょうか。



答弁 (福祉保健課長) 令和3年度に基礎が下がっていたのを改修しました。耐震についても、昭和56年以降に建ったものですので、新しい耐震基準に適応しています。

質問 料金体制はこのままで変わらずにいくのですか。

答弁 (福祉保健課長) 高野町民の方がお使いになる際は、料金は頂いていません。料金に関しては、条例上は外部の方、町外の方の想定もしていますので料金を設定していません。

質問 利用団体の代表が高野町民であれば無償で貸していただけるのでしょうか。

答弁 (観光振興課長) 基本的に申請者が高野町内の方であることが確認できれば、免除になることが多いのが現状です。ただ、高野町民が申請したら無料になるといって、実質、利用者に町民がいなくてもありますので、そこはしっかりと申請される方にお話しさせていただき、適切な利用につなげていきたいと思っております。

高野町神谷簡易水道使用条例を廃止する条例について

内容 神谷簡易水道の給水人口減少(100人以下)により神谷簡易水道事業から小規

模施設に事業形態を変更するため、水道法第11条の廃止を行うものです。

質問 今まで神谷地区は水源の管理がなかなか自分たちではできないということで、専門の方をお願いして、水源の確保をしていたでいていました。今までと同じようにしていただけるのでしょうか。

答弁 (生活環境課長) 町といたしましても、従前どおり、水質のほうは安全に管理できるところまで行っています。

高野町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例について

内容 昼夜間を問わず、全ての消防団活動に従事する消防団員(以下、「基本団員」という。)を基本とした現在の制度を維持した上で、必要な基本団員の確保に苦慮している高野町消防団の実情に応じて、地域防災力の充実、強化を図るために消防団OB等による災害支援を目的とした機能別団員制度を導入し、団員確保対策を講じるとともに、基本団員が長期間にわたり活動に従事することができない場合、身分を保持したまま一定期間の活動休止を承認する休団制度を導入するため、条例の一部改正するものです。

質問 機能別消防団員が加入された場合は、基本団員と同等の公務災害補償の適用がされるのでしょうか。また、高野山周辺集落では、機能別消防団員の導入は、ありがたい話ではあるが、地域に人がいないという問題も抱えています。現在、消防団には町職員も加入されていますが、点検の出席率が低いので、周辺集落の人数の少ない団に月1回の点検等に来ていただいで、コミュニケーションの場にしてもよいのでは、との提案もありますので、ご検討をお願いいたします。



答弁 (消防長) 公務災害補償は、基本団員と同等です。それと高野山周辺地区等で、団員数も少ない場合は、特例で、基本団員として残っていたらいい地区もございませす。今後、組織の再編も考えていかなければならない時期が来るかも分かりません。町職員で消防団に入団されている方がなるべく点検に出るように促すとともに、他にいい案があれば協議してまいりたいと思います。

答弁 (町長) 点検の仕方等、万が一の非常時に動くためにも様々な関わり方が必要だと思います。活動に対し強制することはできませんが、地域の消防活動の必要性を理解していただくためにも、いろいろな提案をいただいで、消防団に加入する職員の育成にもしっかりと努めてまいりたいと思います。

質問 機能別消防団員の年齢制限を具体的に設けていませませんが、ある程度、組織の中では考えがあるのでしょうか。

答弁 (消防長) 最終的には任命権者は団長になりますので、団長がよしとすれば、機能別消防団員としての入団は可能かと思われませす。退団される年齢につきましては、元気な方もおられますし、自らが判断し、身を引くという形になると思ひませす。

質問 現在、町外に住所を有する人が基本団員に入っているが、その人がOBとなつて機能別団員に入団できるのですか。

答弁 (消防長) 機能別団員については、本町に居住するものでなければなれませせん。

令和3年度高野町一般会計補正予算(第5号)について

内容 歳入歳出それぞれ1億2,760万円を追加し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ

57億8,940万円とする。

質問

ふるさと応援寄附金の返礼品の額に対してどういう付加価値をつけておられるか。金額に見合ったものが適正に送られて、喜ばれているのかというところをお聞かせいただきたい。ワクチン接種に関すること、時間外勤務手当であるとか、ほかにも必要な経費が本当にこれで算出されているのですか。

（企画室長） その額に見合ったものかというところは、業者と協議しながら、店舗の方に損をさせていただくわけにはいかないので、そういったところも協議しながら実行させていただいています。

答弁

（企画室長） その額に見合ったものかというところは、業者と協議しながら、店舗の方に損をさせていただくわけにはいかないので、そういったところも協議しながら実行させていただいています。また、よりよい商品ということで、いろいろと開発はしていく必要があると思います。

答弁

（福祉保健課長） 今回計上させていただいたワクチン接種の予算につきまして、1回目、2回目と同様、全額国費で手当されるものという事にはなっておりません。今回も一応令和4年の7月まで見込んだものです。

答弁

（観光振興課長） 和歌山県においては、飲食・宿泊・サービス業等の支援金を県が募集し、支給をされています。これに町が上乘せするような形で、支給を考えています。大体122件ほど支給できるよう予算を組ませていただいております。なお、歳入につきましては、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、これが当たっておりますので、町からの持ち出しはありません。

答弁

（消防長） 消防施設費、仮眠室改修工事1,035万6,000円について、当工事は、様々な感染症の予防対策の一環として、消防職員の感染リスクを低減させるために、消防署仮眠室にカプセルベットを設置し、区画化整備を行うものです。現状は約12畳1室の仮眠室に5名



から6名の職員が寝泊まりしており、本来であれば感染予防の観点から個室化が望ましいのですが、消防庁舎の構造上個室化は不可能であるため、このような形で改修工事を行います。なお、財源につきましては、緊急防災減災事業債を活用します。

質問

無電柱化工事という事業は、まだ続けることができるのでしょうか。国が何%、受益者が何%の資金を出さなければならぬのでしょうか。

答弁

（建設課長） 無電柱化事業は、国庫補助事業ということで、63・8%の補助を頂いて、令和2年から令和6年の5か年計画で事業を進めさせていただいております。無電柱化路線というのがもとと高野天川線、五ノ室線等と路線を指定してあります。その路線と今回の深山線ということで、おおむね計画が済んでしまうこととなります。

質問

教育委員会費の教育参与の報酬ということで、参与というのは、どういった立場の方になるのでしょうか。

答弁

（教育次長） 教育参与は、教育行政の活性化及び学校教育の充実を図るため、豊富な知識と経験を持った人物を委嘱して、教育長の求めに応じた助言をしていただきたいと考えています。また、教育委員会の重点事業である学びの交流拠点整備事業及び英語教育の推進事業や小・中連携の推進、新規事業の取り組み方など、高野町の課題解決に尽力していただくための報酬として、今回要求させていただいております。



中前 好史 議員

学びの交流拠点への「二宮金次郎像」と「名迫地蔵像」「稚児大師像」「地蔵菩薩立像」移転について

質問 こども園、小学校、中学校、公民館などを一体化し、子供から高齢者まであらゆる世代の交流と社会教育の場、お互いに学べる場所として令和6年夏頃の完成となります。現在町長は新型コロナウイルス感染症拡大予防により経済が低迷しているこの時期町民の為に手腕を発揮されていますが当時富貴村が困難な時期、富貴の名迫伊光（なまこっけみつ）様が危機から救ったことから富貴の方々は今名迫明神を建立しました。

名迫様は高野山とも交流を深め当初の高野山幼稚園にお地蔵さまをまつられたと聞いています。稚児大師像については当時の日本ですべて庶民が学ぶことのできる校舎を開校したお大師さまでありますので子供から高齢者まであらゆる世代の交流ができる交流拠点に高野山小学校に設置している二宮金次郎像とともに移設置を提案します。

答弁（教育次長） 移設については高野山小学校に設置されている二宮金次郎像と、その横に隣接している高野山小学校の創立100周年記念碑については具体的に決まっていなため図面で示すことは現在できませんが庭部分に移転設置する予定です。町民多

くの人が触れ合える場所を考えています。名迫地蔵座像については、前高野山学園のこども園の園長から、移転できないか検討してほしいという相談があり、昨年度、その前の高野山学園のこども園の園長には新しいこども園の設立する協議の場において設置場所は確保させていただきましたが設置土台や移転費用等については学園で検討していただきたいと回答し、本年7月に代わられたこども園の園長から移転する方向で進めていきたいと回答いただいています。稚児大師像と地蔵菩薩立像については、子供の守り本尊ということは聞いておりこれらの像については、金剛峯寺のお考えを確認させていただき町ともに協議していきたいと思っています。

質問 場所に関しては住民の方も交えて決めますか。

答弁（教育次長） 金剛峯寺のお考えもありますので、そちらの考えも優先しながら進めていく必要があるかと思っています。

質問 単なる物を移動するというのではなく、今まで子供たちを見守ってくれていたお地蔵さん、またお大師さんをお移しするという意味で、心を込めて移していただきたいと思えます。先ほど町民の皆さんが触れ合えるような場所と聞かせていただきましたのでお地蔵さんを見たときに子供の頃を思い出して自分の子供、孫と語り合えるような場所に設置してもらえたら話が広まっていくと思えますが町長の考えはどうですか。

答弁（町長） 金剛峯寺、また高野山学園との協議点ですが、前こども園の園長先生か

ら教育委員会にお話が正式にあったということは、聞いております。関係する皆様と引き続き協議を進めて参りたいと思います。大切な子供たちを見守る名迫伊光さんの地蔵さん、また稚児大師さん、地蔵菩薩さん、それぞれ見守っていただいていること、また謂れ（いわれ）をこの機会に再度学ばせていただき町民の皆様にも改めて教育委員会のほうからお知らせをさせて頂きたい。関係者、関係機関と協力し協議を始めていきたいと思えます。

答弁（教育次長） 教育としても大切なもの名迫地蔵さま、地蔵菩薩さま、稚児大師さま、この3つの像について共通して言えることは、弱い立場の者全ての人に対し慈悲深く見守ってくれていると言われているのだと思います。子供たちに対して和を広げることができると考えています。移転については、関係される方と、共に考えていきたいと思っています。特に名迫地蔵尊については、名迫伊光様について書かれた文書があります。教育的に今言われている道徳教育の充実というところにつながっていきますと、全ての人に対して思いやりを持って接していくことが、子供たちの指導面から必要であると考えています。新校舎建築後、町民はもとより、子供たちの教育の中でもこのすばらしい業績を子供たちに伝え、人を大切にする、思いやりのある心づくりも進めていきます。





中迫 義弘 議員

マイナンバーカードの普及について

質問 マイナンバーカードの加入状況について伺います。

答弁 (総務課長) 高野町の普及率は、令和3年10月時点で33・6%、971名が加入し、県下で10位となっています。国の普及率は39・1%、県の普及率は34・7%です。

質問 普及しない原因はどう考えていますか。

答弁 (町長) 普及しない原因は、国の施策が悪いからです。

質問 マイナンバーカードのメリットは、本人確認がすぐできる・健康保険証として利用できる等たくさんありますが、総合診療所で今利用できますか。

答弁 (診療所事務長) 現在、マイナンバーカードは使用できませんが、今年度、電子カルテの更新と併せて進めるようになっており、来年2月には完成する予定です。

答弁 (町長) 国のデジタル政策というのがまだ見えてこないというのがこの普及の悪

さにつながっているように思います。申請していた多くは住民の皆さん、また国民の皆さんが、強くこのカードの必要性、それがしつかりと伝わり、必ず普及はしていくと思いが、健康保険証についても国保の方だけですが、進んでいるようですが、その他社会保険関係の者からすれば広がるのも早く、また、運転免許証にも併用という話もあります。口座に紐付けすると7,500ポイント頂けるとか、メリットはありますが、そのカード自身に不信を抱く方も多いというふうに思います。12月4日、総務大臣が会見で、令和4年度末までに9,500万人、約75%まで、持っていくというふうな発言をされています。この総務大臣の発言、非常に頼もしいというふうに思いました。国のほうではデジタル庁ができて、デジタルを一貫していくというふうなことも言われておりますので、この情報がきつちりと管理されているか、またそれを使うことによって多くの方々が便利になるように、各市区町村から、道筋をつけるように強く要望して行きたいと思えます。

質問 国のほうも加入者にはポイント提供をし、近隣の自治体でも、紀の川市は加入者に1万ポイントを提供して、加入率を激増させたと聞いております。本町はこのような予定はございますか。

答弁 (総務課長) 紀の川市の話は聞いています。ただ、近隣の市町村ではやっておりませんが、橋本市のほうはそれなりの普及率を上げており、うちのほうとしては今のところポイント提供といった考えはございません。

質問 高野町においては使うと思っても使うところが無いから、普及率が上がらないと思いませんか。

答弁 (町長) このカードの必要性は、高いと思います。ただ、ポイントをつけるから普及していくというものはなく、進まない理由として、やはり多くの不安が住民の皆さんにあるのだと思います。総合的に考えて、このマイナンバーカードはこれからの社会にとっては必要不可欠なものです。それは私も、また担当課も十分認識はしています。ただ進めるに当たって不安を解消していかないといけないというところが大きなネックとなっています。マイナンバーカードは普及させていくというのが前提で、不安を解消していただく、そういうことへの政治的な運動も併せてしていかなければ、なかなか普及にはつながらないと思いますので、これから町と議会、双方が協力し合って、この普及に関して国に強く要望を持ちかけるといったことが大切なことだと考えます。



大谷 保幸 議員

路線の管理変更について

質問 町長が今年9月の議会と9月末の筒香地区でのタウンミーティングにおいて、町

道筒香線を県道に、県道川津高野線の一部を町道に変更すると報告がありました。町道筒香線を県道ということは、富貴村が高野町に合併される時からの地区住民の希望です。ここに来るまで長い年月がかかっていますが、町として行ってきた経緯をお聞きます。

答弁 (建設課長) 昭和33年6月1日に行われた富貴村を高野町に編入した時の合併協議の中で、当時の町長・村長が、筒香線を町道から県道にしてほしいと知事をお願いしているということが伺える部分がありました。しかし、それ以降は県と県道移管に関して本格的な要望は行われていない状況が続いていました。

平成27年11月と28年4月に、下筒香の同一箇所度2度の山崩れが発生し、また平成28年9月には中筒香で山崩れが発生した。この影響で一時孤立状態が発生した。この2カ所の復旧が平成29年3月までかかった為、住民の方々には大変不便をおかけしました。

平成29年7月と30年2月に町長から知事

への要望が行なわれています。平成30年3月議会時に、町長より、知事と協議を行って行く旨説明があり平成30年6月と12月に町議会議員とともに和歌山県への陳情を行っています。

令和元年7月町長より県土木部技監に要望、令和元年8月交換に関する案について事務協議が始まった。令和3年5月行程協議を行い、令和4年4月1日を目標に管理協定を行うことになっています。

質問 筒香線が県道になった場合、メリットとデメリットについて

答弁 (建設課長) 下筒香で発生した山崩れのような異常な天然現象を伴わない事象が発生した場合には、予算規模の大きい県道で維持管理を行っているほうが有利と考えています。それと、今回の交換で2.7km町道の管理延長が短くなる。今度県道になる部分の筒香線に関しては、デメリットは考えられない。

質問 変更後の路線名についてと、どういう理由でそのような路線名になったか。

答弁 (建設課長) 新しく町道になる路線名については、今議会で議案のほうにも上げている町道三ノ谷線、理由として所在が大宇上筒香字三ノ谷という所に位置しているのので、その小字名を取って三ノ谷にしました。現在の町道筒香線の部分は県道川津高野

線の延長という形になると思うので、川津高野線になる。

質問 この2カ所の路線を町としてこれからどのように対応されていくのか。修繕も含めて。

答弁 (建設課長) 現在の筒香線の今後については、道路拡幅工事を早期実現していくように強く重点的に要望(県に対して)を行っていきたいと思っています。また、道路拡幅が進むと高野山方面からの国道371号や、富貴方面からの川津高野線・阪本五條線の拡幅も進むように要望しやすい環境が整うので、そちらのほうも併せて考えます。現在の県道、今度町で管理する部分について、拡幅は今のところ難しいと考えているが、きめ細かな管理をしていききたいと思っています。

答弁 (町長) 県道になるその箇所(整備していくために地籍調査を優先的に進めた)をしつかり改良していただくというところに熱量を上げて、要望活動を重ねていきたいというふうに思っています。

質問 町道、県道の道が崩壊した時。

答弁 (建設課長) 災害時のことで、私どものほう(建設課)へ連絡を頂けたら、県道になれば県のほうへ連絡を取るの、どちらでも行けるような体制を取っていきます。ご心配なく。



新谷 英一郎 議員

高野山小学校富貴分校の状況と今後の見通しについて

質問 分校として再開されて2年目の学校の様子、来年度以降の入学生や転入生等について伺います。

答弁 (教育次長) 今年度は児童数が1名から2名に増えたことにより、一緒に粘土遊びをするなど、児童同士で過ごす場面が増えていきます。同じ教室の中で同年齢の子供の声を聞いたり姿を見たりすることで、お互いにより影響を与えているようです。授業につきましては体育や図工のように、教科によっては一緒に受けることができる授業もあり、相手に聞いてもらったり、見せたり、一緒に相談したりするなど、授業の幅のほうも広がっています。また、同年齢の児童がいることで、昨年より意欲的に学習に取り組む姿も見られるようになってきているということです。

次に、本校との交流学习は、月に1回程度の割合で行っています。主な内容は、眼科・歯科健診、ミニねぶたづくり、音楽鑑賞・観劇・運動会など行事の参加となります。

次に、今後の入学生と転入生の予定ですが、令和4年度は、1年生が入学生2名、これは転入予定の方も1名含んでいます。3年生に転入が1名予定されています。令和5年度は、1年

生が1名入学する予定です。令和6年度は入学予定等ありませんが、令和7年度には、1年生1名が入学予定になっています。令和8年度以降につきましては、未定になっています。

質問 今後見込まれる児童数のことをお知らせいただきましたが、中学校へ進学という時期も来るかと思えます。そうした点に保護者の方からの要望などが寄せられているのでしょうか。町としては対応が難しいと思われませんが、今の時点での状況と今後の見通しについてお願いします。

答弁 (教育次長) 中学校の件ですが、今富貴分校に在籍している保護者の方から今年の6月ぐらいに、富貴の中学校再開についてのお話をいただいています。それで、10月中旬に保護者の方とオンラインで、どういう考えを持っているか話合いの場をつくらせていただいて、意見交換をしています。今後定期的に実施してほしいということもあり3か月から4か月の周期ぐらいで話をしていく予定で、現在進めています。

質問 定期的に今後も話合いを続けるということですが、学校は地域の文化の拠点とも言われますし、中学校がやがて再開になればという思いはあります。難しい点もありますが、今から準備期間と捉えて検討いただけたいと思います。次に、就学前の教育という点について、先ほどの入学生として予定されるお子さんたちは、富貴で居住をして、保育所、幼稚園という年齢です。そうした状況の中で、保護者の事情に応えるような保育に準じた活動も現在されて

いると思えます。現状についてはどのように捉えていますか。また、今後については、どう進めていくのか伺います。

答弁 (福祉保健課長) 現在、富貴地区に暮らす就学前のお子さんの中、1名は高野山こども園に通いながら、親御さんの就業の都合に合わせて地域住民の皆さんで運営されている子育てサポート事業の一時預かりを利用しています。また、昨年度移住をされたご家庭につきましても、自然の多い地域で地域の人たちの温かいつながりを感じながら生活をさせたいという要望で、同じく地域の子育てサポート事業で預かっていただいています。先ごろ、もう1家族移住を予定されている家族があらましまして、こちらも地元で生活させたいというご希望のようです。地域の方々によるサポート体制につきましても、定期的に会合を持って話し合いをしています。地域の状況、お子さんの様子なども確認させていただいている中で、やはり就学前に必要な集団生活ということに関しては非常に弱いと。本当にこのような体制で良いのか、というような疑問を持ちながら活動に取り組んでくださっているというようなお話も承っています。立地的な問題ですとか、今後どのような経過で児童が増えていくか、というようなことでもあります。現在、富貴に移住された方々におかれましては、今、一般的にある保育を望まれないというような中で、どういう方向性を考えていくかということがございます。今後、地域の皆さん、子育て家庭、行政とで一緒に考え、小学校につなげていくよう、しっかりとやっていきたいと考えています。



菊谷 元 議員

聖地高野山応援プレミアム付商品券について

質問 1回目の販売で、町行政が思っている反省点は。

答弁 (観光振興課長) 観光振興課長 聖地高野山応援プレミアム付商品券については、宿坊、簡易宿泊所で5%、316万5,500円。やはり高野山の経済の活性をしていく中でエンジンになっていく宿泊というところに対して、あまり使われていないのかなと思います。

質問 第2期の販売方法として、今現時点で分かっていることで結構なので、どういった売り方をしていくのか教えて下さい。

答弁 (観光振興課長) 高野山に宿泊していた方が、宿泊、町内業者等での御利用をしていただけ制度みたいな形で第2期については考えさせていただいたらどうかと思っております。

答弁 (町長) プレミアム商品券、また住民向けのクーポンのお尋ねでございます。去年の事業、そして今年の1期目の事業で、関係担当課が参加していろいろな業種の方々の御意見も伺いながら、コロナ後に向けての最後の起爆剤になるように、丁寧な意見も吸い上げた中でいい方向に進めてまいります。

町職員の雇用等について

質問 町職員の雇用等について、職員の離職率はどれくらいか、退職された理由等も分かれば教えて下さい。

答弁 (総務課長) 直近10年間、平成23年から令和3年までの間で採用された職員のうち辞めた職員で算出させていただきます。一般事務職員、31人中6人退職しております。保健師に関しては5人中4人退職しております。医療職、看護師に関しては6人中1人退職しております。医療職で専門職、理学療法士、介護士は、2名中1名退職しております。消防職は16人中7人退職しております。消防職の中には、服務規程第4条、第4条というの、職員は高野町に居住しなければならぬというところがあるのですが、その遵守が困難であるという理由により退職を希望する方もおられました。

質問 保健師5名中4名、消防署16名中7名。消防は服務規程というところで、私も前回質問させていただきました。保健師5人4人、これもまた何か問題があるのですか。80%ぐらい辞めていますか。

答弁 (総務課長) 一身上の都合ということで、理由については詳しくは分からないです。

質問 高野町職員の年収ランキングは実際どのようなところで推移しているか教えて下さい。

答弁 (総務課長) 地方公務員の給与水準を指数で示した数値、ラスパイルス指数で職種ごとに学歴別、経験年別に平均給与月数を比較し、国家公務員の給与を100とした場合の地方公務員の給与水準を指数で示した

ものです。それでいきますと、令和2年は89・3%、89・3ということ、和歌山県下では高野町は下位に当たっています。

質問 ラスパイルス指数が低いという事は、給料全体が安いというふうにも考えてもよろしいでしょうか。

答弁 (総務課長) やはりそのクラスによって給料が違ったりするので、一概には言えないのですが、給料が高いわけではありません。やはり低いというのはあるとは思いますが。

質問 近隣市町と比べたら高野町はラスパイルス指数が低いと思われます。ある程度の平均値で近隣市町と同じようなところに水準を合わせていただきたい。

答弁 (総務課長) 今後も人事院勧告をもとに正な職員の給与の水準を確保していくかと思っております。また、住民に寄り添って、住民のために汗をかき、そんな人材を育てていきたいと思っております。

答弁 (町長) 町職員の雇用等についてということで大きな質問をいただきました。やはり住民のためにしっかりと働いていただく職員を育てること、それは私の責任でもありますし、町全体がしていかなければならないことかなというふうにも思います。そのためにはラスパイルス指数の改善、改善するためには組織の年代別の雇用体系というの、時間をかけて直していかなければならないし、また採用のときの年齢、またここで説明したとおり現業職からの一般職への転換とか、そういったところもしっかり整理していかなければならないと思っております。



崎山 文雄 議員

コロナウイルス禍で不安定な生活を強いられている高齢者に対する支援策は考えられないか。

質問 昭和の納税者、戦後の高野町の発展に貢献してきた高齢者。また現在の日本経済をここまで支えてきた実績は認めなければならぬと思います。長引くコロナ禍の影響で経済は低迷し社会生活が困窮している現状は皆が承知しているところであります。

国や市町村では、法人、個人事業者、事業継続化支援金を交付しております。高野町においても国からの支援金3億、県からは230万、ふるさと納税を活用した3億、それにプレミアム商品券2〜3年度で1億2,000万円が投入されています。

また、国は再び中小企業向けに250万の支援を考えています。なお、中学以下の子供には5万、18歳以下の子供には10万円が支給されるようであります。この支給については、目的、狙いがはっきり伝わってきておりません。

子供を持つ家庭では、義務教育は無料化、医療費も無料化されています。その他にも給食費、修学旅行等の補助も出されているように、保護者の負担が非常に軽減されているのが現状であります。

厚生労働省の調査を引用すれば、65歳以上の高齢者で介護保険料を滞納し、市町村から

資産の差し押さえ処分を受けた人は、令和元年度で過去最多の2万1,578人があったと言われています。また、公的年金から天引きされている高齢者の中にも同じ思いの方もいるようであります。

高齢者にとっては社会保険料は高止まり、介護保険の制度が始まって約20年、20年前と比較しますと、保険料は倍以上になっていきます。高齢者世帯の生活費の負担が増すばかり、コロナウイルス禍の影響で不安定な生活を強いられています。住みよい高野町、住んでよかった高野町のイメージアップのためにも、穏やかな生活をお送りくださいという意味を込めて生活支援を考えてはどうか。

答弁 (企画公室長) 確かに現在の高野町があるのは、高齢者の方々の努力の結果と認識しています。この問題に関しては、高齢者の方だけということではないと考えており、給付(支援)は、町長が常々申しておりますように、国が行うものであると認識しています。若い方、高齢者の方、分け隔てなく事業を行っており財源を確保した上で実施していく必要があると考えています。ただ、高齢者の方への支援となると財源の確保が必要で、今まさに取り組んでいる事業を廃止するか、縮小する以外にないと考えます。

総合的な判断をする必要があり、現在進行形の事業を廃止または縮小してでも行うのか判断をいただく必要があると存じます。

答弁 (教育長) 新しい校舎が完成すれば、それに向けてたくさんの方々の事業を考えています。例えば、子供たちが英語が話せるように「英語教育推進事業」を今行っているところがあります。

教育費や給食の無料化など、中長期的な事業が大幅に、削減されることとなります。こうなれば、保護者はもちろん、子供たちにも多大な影響を与えてしまうことになりかねません。

子供は地域の宝、高野町に置いて子供たちがすくすくと成長し、自信を持って故郷の良さを語り、自信を持って生きていける子供たちを育てていくため、町からの無償化に係る経費は、ありがたいこととあります。

答弁 (福祉保健課長) 社会保障制度のお話ですが、病気・老後など1人では支えきれない生活上のリスクを持ち、社会全体で支え合う仕組みであって、高齢者におかれても年金収入、事業収入等ある方、また、社会保障費についても負担能力がある方には負担をしていただくというのが、最近の考え方です。ご理解いただきたいと思います。

答弁 (観光振興課長) お尋ねの「事業継続化支援金」については、町は、県の仕組みに、県もしくは、国の仕組みに上乗せする形で各事業者に対し支援をさせていただいています。

町におきましては、様々な財源がある中で、それぞれの事業に対し適切な配分を行いながら事業を行っていきます。その中で、議員が申される高齢者への支援についても、しっかりとやらせていただいていると思っております。

一例ですが、病院や買い物の際に必要なデマンドタクシーの運行、タクシー券の配布、全集落ではありませんが、集落支援員を配置し、高齢者家庭の見守り等をやらせていただいています。



大西 正人 議員

今後の町政と次期町長選への対応について

質問 4月に任期満了となる、次期高野町長選挙についての意思を伺います。

答弁 (町長) 町民の皆様にご協力いただき、職として、至極当然なことですがコロナ禍もあり、ひたすら町のことを、町民のことを考えた4年間でございます。

各団体・町民の皆様からも出馬要請、次も頑張れという言葉もいただき、後援会の皆さんにも承諾していただきました。何よりも家族の理解が、次の選挙に向けての一つの判断材料になったものかというふうに思います。克服すべき課題もたくさんございます。これらを克服するために、先頭に立って全身全霊を注ぎたいという覚悟でございます。よって、来る4月の町長選挙、3期目に当たりますが、その選挙に挑戦したいと表明させていただきます。

質問 任期中に取り組んでこられた主な施策を伺います。

答弁 (町長) 事業としてはコロナ対策、何が必要なかを絶えず考え、施策とさせていただきました。医療に関して和歌山県立医科大学の先生方との連携をさらに深め、地域の医師会、また近隣の医療機関も協力をして

いただく体制が取れております。当初目指していた小規模多機能診療所、その機能強化を確実に進めることができました。教育行政では、義務教育の完全無償化をこの2期中にすることができました。また富貴筒香地区にブロードバンドを設置し、富貴分校を再開することに繋がりました。高野山小・中学校も学びの交流拠点で、事業を開始しています。特色ある教育、英語教育をさらに充実させる5年間の仕組みづくりも今年度から始まりました。地域振興関連で観光情報センターをオープン。富貴地区で地ビールに挑戦し、大和当帰の栽培、土壌改良に取り組んでいます。また、日本遺産・女人高野、日本農業遺産への登録も実現させていただきました。道路関係で県道川津高野線と町道筒香線の移管を合意、歴史的風致維持向上計画も策定して、事業化を推進。地籍調査もさらに加速させ、簡易水道事業も2地区に事業を進めております。

質問 前回、笑顔溢れるまちにしたいと言われておりました、町の将来をどう考えていますか。

答弁 (町長) いろんな意味で、ゼロからのスタートだと思います。笑顔が全てを解決するわけではございませんが、少しでも笑顔の輪が広がるような指導力が発揮できるようにするのも、私の仕事のひとつだと思います。この高野山、高野町をどう元気にしていくか。それが次の4年の大切な宿題事項と考えております。先人が今まで培い築いてくれた土壌を無駄にすることなく、町民の皆様の御意見を伺いながら、人との繋がりをもつとつくりたい、この高野町の存在感を大きく出していきたい、そのように思っています。

老朽化した水道管の更新、耐震化について

質問 和歌山市で大規模な断水が発生しました。高野町に於いて法定耐用年数40年を超えている水道管は何%あるのですか。

答弁 (生活環境課長) 平成24年度の策定の基本計画資料で総延長が3万4,795メートルに対しまして、2万5,167メートルで、40年を超す割合は約72・3%です。

質問 谷ヶ峰地区で水道管の布設が行われています、更新とか、継ぎ目の耐震化、そういう計画は進んでいるのでしょうか。

答弁 (生活環境課長) 計画としまして、道路工事と併せて本管布設工事、延長延べ580メートルを計画しております。今後も道路工事と併せまして、計画のほうを行っていきたいと考えております。

質問 72・3%を更新するのは非常に困難と思われませんが、鋭意努力をして安全な飲み水の供給に努めてもらわなければ困ります。今後、水道事業の形態変更が行われたとしても、健全な運営のもと、安全な水道水の提供を行っていただきますよう切望いたします。

答弁 (生活環境課長) 計画もそうなんですけれども、財源の基盤の強化としまして、簡易水道事業への事業形態の変更を提出させていただきます。今後、人口減少に伴い水道事業会計の経営が厳しくなることが予想され、簡易水道になることで国からの補助金等により財源を確保し、将来に備えることができますので、皆様の御理解をよろしくお願い申し上げます。

10月

- 和歌山県町村全議員研修(串本町文化センター)
- 第1回広報特別委員会(清福第96号)
- 都道府県町村議会議長会会長会議(全国町村議員会館)
- 町村議会議員互助会代議員会(全国町村議員会館)
- (一財)全国町村議員会館臨時評議員会(全国町村議員会館)
- 子ども見守り隊発足式(本山前駐車場)
- 国道480号整備並びに有田川河川促進協議会(県庁南別館)
- 高野山小・中学校等建設に係る調査特別委員会現地調査(工事現場)
- 第2回橋本周辺広域市町村圏組合議会定例会(工コライフ紀北)
- 和歌山県町村議会議長会正副会長臨時会(自治会館)
- 第2回広報特別委員会(清福第96号)
- 北方領土返還要求運動和歌山県民会議令和3年度第2回役員会(県庁)
- 第121回和歌山県都市計画審議会(アパローム紀の国)
- 紀の国わかやま文化祭2021開会式(ビッグホール)

11月

- 町文化表彰(中央公民館)
- 国文祭シンポジウム(高野山大学黎明館)
- 伊都地方4市町連携活動議長会(九度山町議会)
- 国文祭 国際こどもコーラスフェスティバル2021(高野山大学黎明館)
- 総務文教委員会所管調査(極楽橋階段)
- 議会運営委員会12月定例会(役場3階会議室)
- 映像配信等視察下見(かつらぎ町議会)
- 紀の国わかやま文化祭2021閉会式(県民文化会館)
- 多様な議員で構成された活力ある地方議会を目指す全国大会(砂防会館)
- 自民党幹部との懇談会(自民党本部)
- 第65回町議会議長全国大会(明治記念館)
- 高野山会議2021(本山新別館・高野山大学黎明館)

12月

- 12月定例会

次の方が選任されました

高野町固定資産評価審査委員 大西 正幸

■一般質問 (質問の詳細については、7～13ページに掲載)

受付順	氏名	質問事項
1	中前 好史	○学びの交流拠点への「二宮金次郎像」と「名迫地藏座像」「稚児大師像」、「地藏菩薩立像」の移転について
2	中迫 義弘	○マイナンバーカードの普及について
3	大谷 保幸	○路線の管理変更について
4	新谷英一郎	○コロナ禍における社会経済活動の現状及び課題について ○高野山小学校富貴分校の状況と今後の見通しについて
5	菊谷 元	○聖地高野山応援プレミアム付商品券について ○町職員の雇用等について
6	崎山 文雄	○コロナ禍で不安な生活を強いられている高齢者に対する支援策はないか。
7	大西 正人	○今後の町政と次期町長選への対応について ○老朽化した水道管の更新、耐震化について

一般質問のしんぶん

『発言』および『答弁』の内容は、質問者に編集・校正をお任せし、広報特別委員会の責任のもと掲載しております。

編集後記

寒気厳しい折、町民の皆様はいかがお過ごしでしょうか。

今年の十月・十一月・十二月はプレミアム商品券と紅葉シーズンで観光客が戻りつつあった中、昨年末から日本各地でオミクロン変異ウイルスが感染拡大し、今年に入ってから猛威を振るう形となり、「またか」と肩を落とす思いで過ごしてまいりました。そんな中、小学生が近所の弁天境内の雪山で、ソリに乗って滑っているのを見えますと、転んでは立ち上がり、登り下りを何時間も繰り返す姿に、笑顔をもらい、何回もチャレンジする姿に勇気づけられました。ウイルス感染予防にしても、また極寒の除雪にしても、自助・共助・公助が大切な事なのだと感じた令和四年の幕開けとなりました。最後になりますが、体調管理には十分気を付けて、ご自愛ください。本年も宜しくお願い致します。

H・K

本会議の様子をインターネットで録画配信しています。

審議内容および一般質問の詳細については、高野町ホームページをご覧ください。議会事務局にお問い合わせください。

高野町HP

<http://www.town.koyawakayama.jp>

議会事務局：☎0799-59-2000